

抗原賦活剤

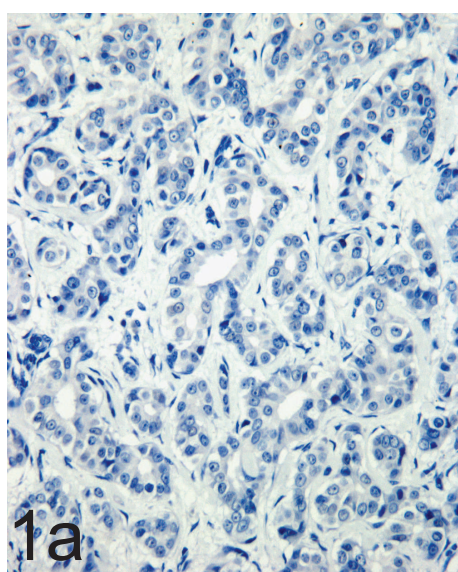
イムノセイバー



cyclin D1抗体を用いて施行した3種類の賦活法による効果の比較

試料: 乳腺

クローン名: P2D11F11(Novocastra)

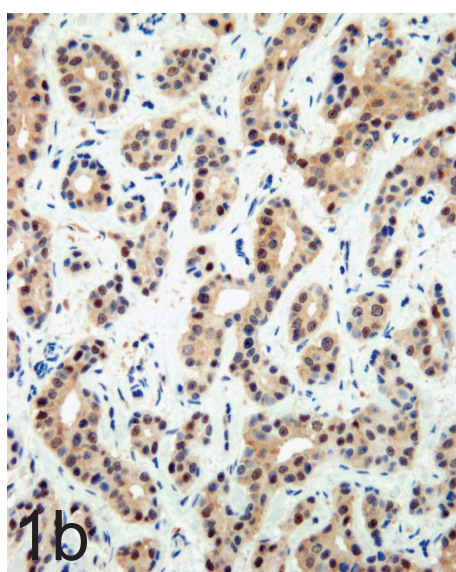


×200

0.01M pH6.0のクエン酸緩衝液



陽性所見は得られない。

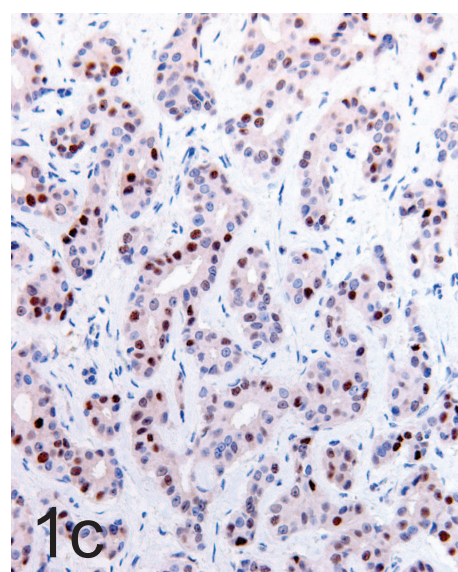


×200

5%尿素を加えた
0.05M pH9.5のトリス緩衝液



陽性所見は得られたが
細胞質等の非特異的反応が高い。



×200

イムノセイバー



核に局限した明瞭な染色結果が
得られた。

比較的免疫染色が難しいとされる核内抗原であるサイクリンD1の同定において、イムノセイバーによる賦活効果が優れていることが確認できました。

「病理技術」第68巻1号より引用